

岡山市可燃ごみ広域処理施設整備基本計画（案）に対する  
パブリックコメント（意見募集）の結果について

1. 意見募集の概要

募集期間	令和2年2月1日（土）から令和2年2月29日（土）まで		
閲覧場所	（岡山市） 環境施設課（市役所分庁舎6階） 情報公開室（市役所本庁舎2階） 各区役所 各支所 各地域センター 各公民館 岡山市ホームページ	（玉野市） 玉野市役所2階情報公開室 行政情報コーナー 各市民センター すこやかセンター ミネルバ 図書館 玉野市ホームページ	（久米南町） 久米南町役場税務住民課 久米南町ホームページ
意見提出方法	持参、郵送、電子メール、ファクシミリ、ホームページ上での入力	持参、郵送、電子メール、ファクシミリ、岡山市ホームページ上での入力	持参、郵送、電子メール、ファクシミリ、岡山市ホームページ上での入力
意見の提出先	岡山市環境局環境施設部環境施設課		

2. 意見募集の結果

- (1) 意見提出者数                      9人  
 (2) 意見項目数                      延べ21項目      (内訳は、別紙のとおり)

No.	意見箇所	意見の概要	意見に対する市の考え
1	第1章 1.2	避難場所を兼用すると聞いている。どのような規模・設備の避難場所を計画しているのか。	<p data-bbox="1218 951 1953 1222">平常時には、環境学習等の研修室として使用するスペース等について、災害時に避難場所として活用できるように、レイアウトや設備・仕様等を工夫するとともに備蓄品等を備えておくこととしており、具体的には、今後事業者提案を求めるための発注仕様書を作成する中で規模も含め検討していきたいと考えています。</p> <p data-bbox="1218 1241 1953 1321">また、施設のユニバーサルデザインにも配慮し、高齢者等にも使いやすい構造となるよう検討していきます。</p>
2	第1章 1.2 第2章 2.1(5)	町内に高い建物はなく、災害時に避難場所として活用できる施設の機能として、頼りになると考えている。多くの住民が避難できる場所や機能を重点に検討してほしい。	
3	第1章 1.2	この施設は、避難方向で一番近い建物（避難場所）になる。そのため、収容人数等を十分確保し、高齢者対策も十分考慮した施設を希望する。	
4	第1章 1.2  第10章 10.2(1)  第11章 11.1(2)	<p data-bbox="560 762 1178 890">備蓄品の確保や応急処置対応、身を休ませる事の出来る避難場所の確保ができる施設にしてほしい。</p> <p data-bbox="560 906 1178 1034">また、研修室以外のスペースも災害状況に応じて臨機応変に利用出来るよう、非常時に役立つ設計にしてほしい。</p> <p data-bbox="560 1050 1178 1177">避難者の動線計画については、災害時には混乱するので、避難者の安全が確保できる車両の動線にしてほしい。</p>	
5	第11章 11.1(2)	普段の機能は当然として、災害時の避難場所として実際に活用できる施設を目指してほしい。また、バリアフリーはもちろんのこと、要介護者（高齢者や障がい者）を多く受け入れできる施設として、岡山市の災害避難計画に明確に位置付けられた施設として整備してほしい。	

6	第 11 章 11.1(2)	<p>町内には低層住宅で高齢一人家庭や高齢者のみの家庭が多くあり、増加の傾向にある。</p> <p>年々河川の氾濫と内水被害が心配されているが、風水害等拡大のおそれがある場合に発令される避難準備情報（要配慮者は避難を開始）は、避難勧告より前に出て、高齢者等が避難を開始します。そのため、早めに安心して避難できる場所がほしい。</p>	
7	第 13 章 13.3	<p>この広場は、岡山市の危機管理室の指導の下、災害時の岡山市災害対策全体計画の中で、避難場所としての機能や避難者の駐車場として位置づけてほしいです。そうでないと災害時のごみ集積所になりかねないと思います。</p>	<p>北側用地については、災害時に地域の方が利用できる防災機能を持った広場としての活用が可能となるよう、今後、岡山市危機管理室とも協議しながら、頂いたご意見も参考にして検討していきます。</p>
8	第 1 章 1.2	<p>周辺の住民の理解や協力を得て、施設整備の基本方針を生かして欲しい。</p> <p>また、工事に入る前に検討会を必ず実施するとともに、説明会で各町内から出された質問や意見に出来るだけ応えてほしい。</p>	<p>引き続き、地域の皆様への説明会を通して、ご意見をお伺いしながら、ご理解、ご協力を得ながら進めていきたいと考えています。</p>
9	第 11 章 11.1(2)  第 12 章 12.3 図 12-4	<p>避難所として活用できるスペースの広さについては、2月23日の説明会の中で、まだ設計が出来ていない段階でわからないと答えられたので、設計案、工事に係る仕様書の作成が完了したら、工事に入る前に必ず地元説明会を開いてください。</p>	<p>引き続き、地域の皆様への説明会を通して、ご意見をお伺いしながら、ご理解、ご協力を得ながら進めていきたいと考えています。</p>

10	第2章 2.2(3)図2-4	柱状図（建設中心付近）が汚くて内容が読めません。読めるものを出してください。	より鮮明なものに修正します。
11	第4章 4.1(2)	可燃ごみ広域処理施設を作るためには、1日200t以上燃やせるという枠があります。3市町村が一緒になってもごみの量は令和2年をピークに下がり、稼働する令和8年、令和9年、令和10年まで頑張ってもあとは200tを切る状態になっています。今後の人口減少は避けられず、ごみが増えることも考えられません。今考えている200t/日目標も令和9年の予想ごみ処理は139.1tと記入しています。また、災害ごみを含むようですが、ごみ量が初めから少ないのに交付金を貰うために200t/日を考える必要があるのでしょうか。	この計画の中で算出した施設規模200tについては、安定的な処理を可能とするために必要最小限の規模であり、今後の人口減少も加味し過大な規模とならないように、「交付金要綱の取り扱いについて」の規模算定式を参考に算定したものです。
12	第5章	ペットボトルやレジ袋を分別リサイクルという美名の元に減らした結果、十分な焼却温度が得られず、減らしたはずの油等を投入するという、本末転倒な政策をやめられるよう、焼却炉の強度と性能を確保するようお願いいたします。	広域処理施設で採用を予定しているストーカ方式では、年数回の停止からの立上げ時に燃料を使用しますが、その後は、ごみの持つ熱量により自燃することが可能であり、プラスチックごみの量が燃料使用量に影響することはありません。 また、今後検討の中で施設の強度や性能について、より優れたものとなるように検討していきます。
13	第7章	山林との関係も考えて計画してほしい。 真庭市のような木材による発電の形もあります。木材資源の活用も考慮して、ごみによる発電などを考えてほしい。	広域処理施設では、山林の間伐材などを主燃料とする木質バイオマス発電は想定しておりませんが、処理に伴い生じる蒸気や電気を、施設内でごみ処理に必要なエネルギーとして有効利用するとともに、隣接する温水プー

14	第 7 章	<p>地球温暖化が問題になる中、熱を有効に活用する必要があります。スウェーデンのように、ごみによって発電をするなどのごみ処理を超えた考えが必要だと思ふ。</p>	<p>ルへ蒸気を供給します。</p> <p>また、発電した電気については、余剰分を電力会社に売却するほか、避難所となる学校など、近隣の公共施設へ供給することを検討します。</p> <p>併せて、停電時の電源確保のため、電力供給先の公共施設に蓄電池を設置し、災害時における避難場所としての機能性を高めることも検討します。</p>
15	第 10 章 10.2(2)	<p>ごみ収集車の台数が増える事が予想される。県道 40 号線の渋滞対策と道路の損傷について、どのような対策をするのか。</p>	<p>施設敷地内に待機車両が一定の時間に集中して、県道へはみだすことを防止するため、入り口から計量所までの距離を現在の岡南環境センターの 1.5 倍程度確保することとしております。</p> <p>また、玉野市、久米南町からのごみの搬入については、大型車への積み替え等により、最小限の台数とする方向で、玉野市、久米南町と協議中であり、現在の県道の交通量が大きく増加するとは想定しておらず、ごみ収集車により道路損傷が増加するとは考えておりません。</p>
16	第 12 章 12.1	<p>施設的设计・建設工事費が 169 億円になっていますが、当初の費用より 1.5 倍近く増えています。7 年後に稼働する施設なので、今後の費用の見通し（増減）が分かりません。</p> <p>玉野市でごみ処理ができることを望みます。</p>	<p>設計、建設費用については、全国の焼却施設の工事費実績を基に算出していますが、平成 26 年度岡山ブロックごみ処理広域化基本計画策定時に比べて現在の焼却施設の工事費実績は、大幅に増加しています。208 億円は現在の概算金額であり、最終的な整備費は、今後詳細な仕様を検討し、設定する予定価格により入札を行った落札決定額となります。</p> <p>また、2 市 1 町の老朽化した 3 施設を統合することで、個別に施設整備を行うよりも、ダイオキシン類や温室効果ガス等の環境負荷、建設・運営に係るコスト、ご</p>

			み焼却に伴う発電量のいずれの面でも有利になります。
17	第12章 12.1	概算事業費約208億円について、平成26年度策定の「岡山ブロックごみ処理広域化基本計画」では建設整備事業費として約91億円が示されていたが、本計画では約7割増に事業費が大きく膨れ上がっている。前回の「広域化基本計画」と比較して、なぜ、高騰したのかの理由と、208億円の概算根拠を示してほしい。	<p>設計、建設費用については、全国の焼却施設の工事費実績を基に算出していますが、平成26年度岡山ブロックごみ処理広域化基本計画策定時に比べて現在の焼却施設の工事費実績は、大幅に増加しています。</p> <p>原因として、東日本大震災の復興や、東京オリンピックによる資材の高騰、人口減少、高齢化も含め人材不足による人件費の高騰など様々な要因が想定されます。</p>
18	第12章 12.1(2)	「玉野市及び久米南町との広域の処理施設であることから、工事費におけるそれぞれの負担金は、今後検討します。」とある。各市町の議会に対して情報提供とともに、公開の説明会を開催するよう求める。	<p>施設整備費の各市町の負担額は、2市1町で締結した協定の中で定めた計算方法により算定した額となります。今後、各市町のごみ量の割合、落札額が決定すれば、額が確定します。</p> <p>なお、第12章12.1(2)財源内訳の中で、「工事費におけるそれぞれの負担金は、今後検討していきます。」との表現については誤解を生じる表現であるため、「工事費におけるそれぞれの負担金は、2市1町で締結した協定の中で定めた計算方法により算定した額とします。」に修正します。</p>
19	計画外	プラスチックごみ等の安易な焼却こそ問題であるとする。処理施設整備計画とともに、岡山市として新たな対策はどのように展開されるのか示してほしい。	プラスチックごみを含め、ごみの対策については、今後改定予定の岡山市一般廃棄物処理基本計画のなかで盛り込んでいく予定です。

20	計画外	<p>玉野市で燃やせば近いのに、中継施設を2つも作って岡山市に運搬することは、今までより費用がかかり、人員も大勢必要なためムダです。</p>	<p>2市1町の老朽化した3施設を統合することで、個別に施設整備を行うよりも、ダイオキシン類や温室効果ガス等の環境負荷、建設・運営に係るコスト、ごみ焼却に伴う発電量のいずれの面でも有利になることから、広域処理施設を整備することとしました。</p> <p>なお、玉野市、久米南町からの収集運搬費は増加しますが、スケールメリットによりコスト縮減を図ることができるため、総合的な経済性においても優位になります。</p>
21	計画外	<p>仮の災害廃棄物置場は、住宅地から離れたところで、悪臭、地下水の汚染、自然発火等考慮した場所を検討してほしい。</p>	<p>災害廃棄物の処理に関しては、別途、岡山市災害廃棄物処理計画を定めており、今後、改定に当たっては、頂いた意見も、参考とさせていただきます。</p>